

ヒマラヤ ~ カナダ で活躍の田近（加藤）さん

能代産 秋田美人！

出会いは1990年12月

ホテル・エヴェレストビュー

1993.01 ホテル・エヴェレストビューにて
中川▼ ▼鈴木 ▼田中▼田近▼荒井



04.7.09 産経 朝刊 < 第三種郵便物認可 >

重度の心臓病を患うネパールの少女、ウジラ・シュレスタさん(五)の手術は、ある日本人女性の存在がなければ実現不可能だった。

カナダ・バンクーバーで旅行コーディネーターを務む田近真知子(五十五)さん。ウジラさんの父、ヒラ・シュレスタさん(五十九)は十数年前、田近さんとの出会った。

以前、ネパールのホテルで働いていた田近さんは、ホテルの関連会社に入社して来た経験のある田近さんと気が合った。三年前にウジラさんの病気を知らされた田近さんは、命を救うため知人を頼りに奔走した。

だが、現実には厳しい。現地での手術は可能で、海外に行くには資金が足りない。ネパールには外国から多くの医療

ボランテアが来るか、高度な治療が必要な心臓疾患関連の団体は見当たらない。

「それでも、何か手はあるはず。田近さんの願いは通じ、インターネットを通じて頼む前も知らない「メル友」の存在を知った。

「心臓病のネパールの子供がいます。なんとかありませんか？。今春、産経新聞社にかけた一本の電話は、ようやくとどき着いた。最後にウジラさんの病気を希望だった。

ウジラさんのため、田近さんはパスポート、ビザ、飛行機を手配し、日本での滞在先を確保、平均月収数千円という

少女の願い

運命変えた出会い



ウジラさん(左から2人目)の帰国を待ちわびる家族。手術成功の一報に、母親のウルミラさん(右)は泣き崩れた。今年5月、ネパール・カトマンズの自宅

「なんとかしたい」奔走した日本女性

ネパールに比べ、「日本遣い、田近さんは手術は信じられない物価高」前、気晴らしに映画に運(シ)さんだが、時にれ出したところもあった。

は身銭を切ったウジラさん。田近さんは言う。「十五年間、苦労したの衣服などをそろえ、ウジラさんと家族をなんとかつらさは、すべてがしてあげたかった。手術新鮮であり、戸惑いでも、できる道筋が見えた。ほぼ同じで、二人の手術、そんなウジラさんを、こんなに回復できるを執刀した小出昌秋心臓



「明美ちゃん基金」への振り込みは、みずほ銀行東京中央支店・普通口座110-567941「産経新聞社会部明美ちゃん基金」。郵送の場合は、現金書留で〒100-8077(住所不要)産経新聞東京本社社会部「明美ちゃん基金」へ。

< 3 姉妹 >

▼ウジラ ▼マンジラ ▼サファラ



▼ 聖隷浜松病院へ入院 ▼



▼ヒラさん ▼田近さん ▼ウジラさん



その後元気な
ウジラさん
2007年6月
ヒラさん宅訪問

